

科目名	スポーツ実技Ⅱ		英文表記	Physical Education II		平成23年4月	
科目コード	5009						
教員名：末吉つねみ 技術職員名：						作成	
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			5年	選	履修	1単位	演習 後期
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合			
	生涯スポーツの実践方法、基本的技術を習得する。生涯にわたり自発的にスポーツを実践し、継続して身体活動を行う習慣を身につける。			各種目のスキルテスト（60％）各種目に対する意欲・興味・関心について毎時間の振り返りカードの記入（15％）観察評価（10％）			
高専目標	JABEEプログラム名称			機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	1	2	3	4	JABEEプログラム教育目標	C-4	C-1
授業概要、方針、履修上の注意	【授業概要と方針】 各スポーツのルールやマナー、安全対策について学習する。 各スポーツ種目の学習はグループ学習を基本とする。球技ではチーム戦術研究、作戦の立案を反省を通してコミュニケーション能力と自己学習能力を身につける。						
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> 各スポーツの基本ルールと技術についてのプリント（教員自作） 作戦および自己評価カード（教員自作） 参考：「アクティブスポーツ」（大修館書店） 						
授 業 計 画							
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目	
1	授業ガイダンス・卓球	2	授業の進め方と準備の説明。基本技術（サーブ、レシーブ）を習得する。				
2	卓球	2	基本技術（サーブ、レシーブ）を習得する。基本ルール（ダブルス）を習得する。				
3	卓球	2	基本技術（サーブ、レシーブ）を習得する。試合（主にダブルスゲーム）を通して、卓球の実践能力を身につける。				
4	バレーボール	2	基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）を習得する。				
5	バレーボール	2	基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）を習得する。スキルテスト、試合を行う。				
6	バレーボール	2	基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）を習得する。スキルテスト、試合を行う。				
7	バレーボール	2	スキルテストを行う。試合、作戦の立案を通して、バレーボールの実践能力を身につける。				
8	ニュースポーツ	2	グラウンドゴルフの基本技術、基本ルールを習得する。				
9	ニュースポーツ	2	ユニバーサルホッケーの基本技術、基本ルールを習得する。				
10	ニュースポーツ	2	ユニバーサルホッケーの基本技術、基本ルールを習得する。				
11	ニュースポーツ	2	スキルテストを行う。試合、作戦の立案を通して、ユニバーサルホッケーの実践能力を身につける。				
12	ソフトボール	2	スローピッチソフトボールを中心に学習する。基本技術（スローイング、キャッチング、バッティング）を習得する。				
13	ソフトボール	2	基本技術（スローイング、キャッチング、バッティング）を習得する。作戦の立案および試合を通してソフトボールの実践能力を身につける。				
14	ソフトボール	2	作戦の立案および試合を通してソフトボールの実践能力を身につける。				
15	ソフトボール	2	作戦の立案および試合を通してソフトボールの実践能力を身につける。				
期末	期末試験						
学習時間合計		30	実時間			25	
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要							

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分＝1、100分＝2）